



# TOKYO CHUO SHIN ROTARY CLUB 東京中央新ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日(12:30~13:30) 会場 帝国ホテル及びオンライン  
 会長 山下 江 幹事 福元 智子  
 事務局 〒104-0061 中央区銀座8-11-12 正金ビル2F  
 TEL 03-5537-0270 FAX 03-5537-0271 <https://tokyochuo-new-rc.jp>

2022-23年度 国際ロータリーテーマ 「イマジン ロータリー」

## 例会報告 第875回 2023年2月27日(月) ハイブリッド例会

出席率 70.00% 出席+接続会員数32名+メンバー3名  
 (正会員58名-休会8名)

### 🎯 開始 (安原SAA委員長)

定刻となりましたのでこれより第875回例会を開催致します。

本日の例会の様子は当クラブのHPの記録のため録画致しますので、ご参加の皆様は、予め個人情報の許諾をお願い致します。

### 🎯 山下江会長 点鐘挨拶

皆様こんにちは!

2月21日の地区大会には当クラブから約15名の方に参加いただきました。ありがとうございます。まだ参加者は少ないと思いますが、昨年より増加し、みなさん大きな声で返事をして、他のクラブに対して存在感を示せたのではと思います。

今日は寄付のお願いです。

ご存知のとおり、トルコ・シリア大地震により5万人を超える人々が死亡し、膨大な人々が避難生活をしています。国際ロータリー及び第2750地区はこうした人々に対する義援金を集めています。地区からの要請はクラブで1人×500円なので3万円ですが、これを超える義援金が集めることができればと思います。今日の例会に参加している方は可能ならば、コイン以外でお願いできればと思います。

また本日の卓話時間は、クラブ協議会に使用します。次年度の奉仕活動についてみなさんと協議できればと思います。明山会長エレクト、山田次年度幹事、よろしく申し上げます。

また、本日もIMに向けてビデオ作成のため、中里副会長の事務所の深井さんがみえております。ご協力をお願いします。

それでは第875回例会を開催致します。

### 🎯 ロータリーソング (ソングリーダー松岡会員)

「四つのテスト」「世界をつなぐロータリー」

### 🎯 新入会員 桑澤 淳 様 入会式

入場。山下会長から入会証お渡し。

### 【野呂さんから一言ご紹介】

入会のきっかけは野呂会員が行っている大人向けの

画廊巡り。そこに参加され、更に別の食事会に参加され、ロータリー会員が多くいた事からロータリーに興味を持ってもらいました。ゲストでお呼びして、クリスマス例会にも参加いただいて入会の推薦をさせていただきました。



### 【桑澤さんの自己紹介】

1回目に参加した際に、会員の皆様の能力の高さに驚き、人から学びたい気持ちが強く、皆様と週1回お会いできるのが私にとって宝物ですので、何ができるかまだ分かりませんが、慈善活動のお手伝いできたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。

### 【会長から一言】

ご入会おめでとうございます。非常に華やかな楽しい会ですので、人生が豊かになる事間違いありません。ぜひロータリーライフをお楽しみ下さい。一緒に楽しみましょう。



### 🎯 ゲスト紹介 (SAA 杉原会員)

本日は例会によるご参加下さいました。本日のゲスト4名です。

- ・日本橋RC 川村喜久 様
- ・東京南RC 渡辺弘二 様
- ・東京北RC 松本謙一 様
- ・米山奨学生 方岳ゲン 様

### 🎯 米山奨学金お渡し

山下会長から留学生方岳ゲン様に米山奨学金をお渡しいたしました。

<方さんからご挨拶>

今日もよろしく申し上げます。今月は北海道に旅行をしました。色々見て色々勉強して良い経験をしました。皆様にシェアしたいと思います。私は中国の南部で育ったので沢山の雪を見たことがなかったのでびっくりしました。旅行中に清華亭に行きました。清華亭は明治14年に明治天皇が



行幸の際の休憩所として建てられました。今でも元の場所で完璧に保存されています。北海道は未開の地でした。天皇の巡幸によって国民の意識を変えようという施策がありました。その施策の影響で国民が北海道に沢山渡るようになりました。その話を聞きながら建物を通して歴史が見えるような気がしました。現場に行って体験するのが正に学習のコツだと思っています。今後も学ぶ意識で元の所に行ってより多くの人と交流したいと思います。

### 地域社会奉仕委員会報告(水野会員)

中央区花壇ボランティアの植え替え、今回は3月10日(金)午後2時からです。メールにてお知らせします。



1月24日(火)に東京中央RC主催のコンサートがあり、児童養護施設の子ども達を招待して下さいました。当会からは伊藤会員が付き添いました。これに対し、感謝のお手紙と寄せ書きが当クラブに送られてきました。(実物を紹介)

### 幹事報告(福元智子幹事)

2点あります。1点目はトルコ・シリア地震募金の件です。皆様にメールが行っているかと思いますが、多数の死者も出ており、建物の瓦解もひどく、ロータリーとして全面的に支援するという決定がなされています。これから募金ボックスを回しますので募金をお願いします。(クラブ協議会后に集計発表。48,000円集まりました。ありがとうございました。)

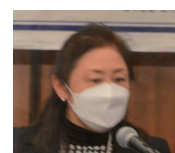
2点目は、ロータリーGOというイベントを地区の公共イメージ委員会が中心となって行っております。これはロータリークラブの認知度を高めようというイベントです。具体的には、ロータリークラブが町に寄贈している様々なもの、当会で言えば花壇、他クラブでもいろいろな物を町に寄贈していき、あちこちにあります。そこをスタンプラリーの様にまわっていただき、写真を撮っていただきます。一定の評価基準で評価し、宇宙の素敵なプレゼントを用意しています。対象はロータリークラブを知らない人達なので、ロータリアンは対象ではありませんが、積極的に知人やお子さんに参加していただきたいと思います。期間は3月15日から4月10日です。マップもあります。A3サイズで配布される予定です。ぜひこの機会に巡っていただき知識を深めていただきたいと思います。3月には配布されると思います。

本日は卓話はなく、クラブ協議会です。

### 閉会の点鐘(山下会長)

### クラブ協議会(山田次期幹事)

本日司会進行を担当します、次期幹事の山田です。今日は第3回クラブ協議会ですが、何故私が司会かと申しますと、本日のテーマが『次年度の奉仕活動』についてだからです。次年度はまだスタートしていませんが、奉仕活動をするにあたって原資をどこで確保するかがとても大切なポイントです。次年度がスタートした直後に財団の地区補助金の申請が始まり1ヶ月位で締め切りがくる事から、毎年この時期にクラブ協議会を開催して次年度の奉仕活動について議論をする機会を設けています。新入会、入会年数の浅い方もいますので丁寧に説明したいと思います。



### <本日のアジェンダ(スライド)>

#### みんなで作る奉仕活動>

- 補助金(DG/GG)についておさらい
  - GG(グローバル補助金)プロジェクトL
    - パキスタンにおけるウォーター・ソーラー・プロジェクト
    - インド・プロジェクト GURU COOL
  - DG(地区補助金)プロジェクト候補
    - 音楽の輪 One World Musicプロジェクト(愛称:OWM)
    - ディスカッションとNEXT ACTION

奉仕活動のための資金をどこで調達するかは、とても重要な問題です。

例会時に集めるニコニコはそのまま奉仕活動に生かされます。会費は、納める時に一部は地区の財団補助金として納められています。これはグローバルに寄付された補助金が集約され、専門家集団が運用し原資を増やして、重要なプロジェクトに配分したり、各クラブが申請を上げて補助金を使う仕組みです。

### <補助金についておさらい> (明山エレクト)

- ロータリー財団の基本的な3つのプログラム
  - ポリオプラスプログラム
  - 補助金プログラム
  - ロータリー平和センタープログラム

プログラムを支える基金として、

- 恒久基金…寄付したお金の元金には手を付けず、運用益のみを使っていくもの
- 年次基金…シェアシステムを通じて、地元や海外での財団補助金と活動の主な財源となります。

### 寄付の地区目標金額

- ポリオプラスプログラム 1人 \$30
- 年次基金への寄付 1人 \$150

- 恒久基金 (ベネファクター)  
 会員数99名までのクラブは 1名 (\$1,000)  
 100名以上のクラブは 2名 (\$2,000)  
 3つ以上達成でガバナー賞をいただけます。

#### 補助金申請について

以下の場合には補助金支給の対象外

- ①3年前の年次基金への寄付が0円だったクラブ
- ②補助金管理セミナーを欠席したクラブ
- ③地区とMOUの締結をしていないクラブ  
 \*MOUは地区との覚え書きです。これには次年度の会長と次次年度の会長のサインが必要です。3月までに必ず提出します。

#### 地区補助金 (DG) とは

地域社会、海外でその地域のニーズを満たす短期のプロジェクトに使用できる補助金。その年度に終わらせる。今年度はキープ・ママ・スマイリングにマストレス寄贈で無事に終了しています。

#### グローバル補助金 (GG) とは

ロータリーの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な効果をもたらす大規模な国際活動に使用できる補助金です。

大きなお金を扱う事ができます。地区活動資金 (DDF) からクラブ拠出金の最大10倍の支給を得られます。国際活動資金 (WF) から地区活動資金の80%相当の支給が得られます。

(例) クラブが25万の拠出をするとDDFから250万円。WFから200万円、合計475万円のプロジェクトとなります。

地区としては、GGを増やしていこうと言っています。

ただし条件があります。

- ①ロータリーの7つの重点分野の一つ以上に関連している
- ②持続可能であること

7つの重点分野とは、平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展、環境です。

持続可能性について、私達が持続可能である、ではなく、補助金を使って実施される国で持続可能であるかどうか、が重要です。

#### <GG (グローバル補助金) プロジェクト> (明山エレクト)

パキスタンにおけるウォーター・ソーラー・プロジェクトについて

なぜパキスタンで行いたいかというと、自然由来のポリオはパキスタンとアフガニスタンの2カ国に残っています。この2カ国からポリオがなくなります

とポリオフリーになります。ロータリーとしては最優先課題です。

パキスタンは様々な感情があり、なかなかワクチンを打ってくれない国です。ワクチン接種のルート確保のために、ニーズを調査し、安全な飲料水がほしいという事が分かりました。ソーラーパワーで駆動する浄化装置を設置し、その中で信頼関係を得て、その後にはポリオに対する教育をして、ワクチンを投与する、という手間がかかるプロジェクトです。草の根的活動をやっていかないと、こういった国ではポリオがなくなるという事で活動をしています。既に他の地区で活動があり、同じような形で受け継いでいきます。インフラは地元のコミュニティに寄付をし、メンテナンスは地元の方達にお任せしていくという事で持続可能なプロジェクトになっています。GGは現地視察が必須です。本当に現地のロータリアンと協力していけるのか、本当にできているのか、やっていけるのか視察が欠かせません。来月3月に財団委員長の圓井さんとパキスタンに視察に行き参ります。またご報告できるかと思えます。

このプロジェクトは数年前に理事会で通していただいたのですが、コロナで現地に視察に行けず一旦ストップしてしまいました。今回再開するという事で、スタートしていきたいと思っています。他のクラブもいくつか参加します。こちら合わせて少しずつご報告していきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

#### <GG (グローバル補助金) GuruCool プロジェクト> (清宮会員)

GGは私達のクラブだけではやらないものです。他クラブと共同で行います。このプロジェクトを行うに至った経緯は、2019年にインドの3232地区100人がメーキャップに来ました。当時は私 (清宮会員) が幹事で皆さまをお迎えいたしました。この繋がりから、今年の井関国際奉仕委員長が、連絡をとり何かできないかと打診したところから始まっています。

提唱は日本の2750地区のうち、東京中央新RC、東京山王RC、東京シティ日本橋RCの3クラブです。実施はインド、3232地区のギンディーRC、米国のRCと一緒にやることになりました。

ギンディーRCは、インドチェンナイにあるクラブで、平均年齢が40代中盤でとても活発なクラブです。私のカウンターパートとなる方はパスト会長のニールさんです。毎年GGを行っているそうで心強いです。そしてギンディーRCから、アメリカのクラブとも一緒にやることになったと連絡があり、ニュージャージー州のニューブランズウィックRCが参加します。

井関さんがニールさんに相談し、先方からもご提



案があり、昨年11月にプロジェクトの企画の確認をし、理事会に承認を得ました。昨年11月18日にギンディーRCのセッションさんが来日していたので、私(清宮会員)、井関委員長、西村副委員長の3人で各所をご案内いたしました。その中で、明山エレクト、福元幹事のお力もあって、12月に東京山王RC、1月に東京シティ日本橋RCの参加が決定しました。現在は、GGプロジェクトとして企画申請準備中です。クラブ一丸となってプロジェクトを成功、実施しましょう。インド側がしっかり調査して下さっていますが、私達がやる事に関してチェックや一緒にやる、という事も必要なので、皆さま一緒にインドに行く事をお願いできたらと思います。

GGの重点テーマ5番目のBasic education and literacyが我々の目的です。予算については、3クラブでやる事がいかに重要か、地区の単クラブでやる時と複数クラブでやる時の上限が異なります。複数クラブで行くと地区補助金が1万ドルアップし3万ドルになります。グローバル補助金が8割ついて、日本側から合計58,000ドル拠出することができます。インド側でも同様に43,000ドル、更にアメリカ側も拠出するので、総予算132,000ドルで動きます。

実際に何を行うかという、インドの貧困家庭が多い地区の学校にスマートボードという電子黒板を贈ります。インドでは紙の教科書が配られず電子化されています。貧困家庭ではパソコンなどのデバイスがないので、学校で勉強しなくては行けない。その学年、内容に最適な情報を学生に提供する事を目標にしています。ただ贈るだけだと使いこなせない、持続的な観点から先生や地区の大人に対してトレーニングを提供できないか、インド側が検討しているところです。受益者は、貧困家庭なので、貧困の連鎖を断ち切るために、女子学生が多い学校を中心に考えています。毎年2,500人の新入学生が入ってきます。今後15年間このデバイスを使用する予定です。プロジェクトの紹介動画がありますので皆さんで見てくださいと良いと思います。

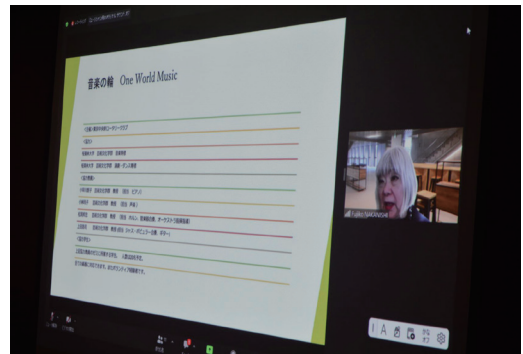
#### <One World Music プロジェクト> (高橋委員長)

今回、青少年奉仕と職業奉仕のコラボレーションで提案したい奉仕活動です。「音楽でつなぐ地域、社会、世界」子どもも大人も音楽を通して心を豊かにしよう、という参加型の奉仕活動です。



中西会員が説明します。「音楽でつなぐ地域、社会、世界」OWMという愛称で呼びます。今回の目的は、すべての子どもたち、青少年の豊かな未来のために「芸術(音楽)を通して人と地域社会に笑顔と元気をもたらそう」という事を目標にしました。

音楽や芸術が社会にもたらす効果。①芸術を見



たり聴いたり作ったりする事で、楽しい、良かった、幸せと感じるなど、社会に及ぼす様々な効果があります。②貧しい地域の子もたちが音楽やダンスを学ぶことで非行防止に役立つことがあります。③過疎の村に音楽やダンスなどの参加型のプログラムをすることで、その地域が活性化する、元気になるという効果があります。

人の中にどのような効果が現れるか、日本ではまだまだですが、ロンドンでは人々の生活を豊かにする効果が実証されています。例えば、日本でも社会の多様化で、社会から疎外された人々のコミュニケーションが非常に難しくなっています。ここで音楽・演劇を通して、言葉の力を越えて、表現力、適応力、創造力を深めて社会に飛び出す自信をつけることができます。

地域の活性化については、関心のある人が集まって、コミュニケーション、リクリエーションの場を作ることで、高齢者の健康増進ができることがあります。

ユース・ミュージックについては、事例をあげますと、海外で、麻薬、不登校、事件を起こした子どもたちが社会から疎外される、そこにオーケストラを作りました。規則正しい生活、食事、衛生管理、規律と健康が保たれていなかったものが、人とのコミュニケーション、信頼、交流によって自信を取り戻し社会復帰ができるという効果が生まれました。ベネズエラでは1975年にアブレウ博士が音楽を使って教育の機会を作りたいと動いた事例がありました。(エル・システム)オーケストラは共同作業、楽器を大切に、人の音を聴く姿勢が社会性を育み、自信が生まれてきます。このエル・システムは世界的に成長し、援助を得て大きなオーケストラに成長しました。この活動は福島でも生まれました。東日本大震災の後、相馬市と大槌町がエル・システムから資金を得て活動を始めました。

今回提案のプログラム(OWM)、場所は桜美林大学、東京ひなたやまキャンパス、芸術文化ホール、対象が小学生から高校生です。いろいろな世代の人達が、一緒になって音楽を演奏または学習をする、という事を目的に企画をしました。小学生から高校生が、桜美林大学の大学生と一緒に音楽経

験をし、仲間と一緒に歌を歌って楽器を奏でる事で生きる力、協力する力を育てていきたいと思ひます。会場は桜美林大学のホールです。今回は大学の各楽器の先生の協力を得ることができています。学生はゼミの学生が大勢いますので協力することができます。プログラムは、学生によるミニコンサート、全員で創りだす音楽（一緒に練習をしてひとつの歌または音楽を創りだす）をしようと思ひます。開催時期としては、通年で2回位を考えています。将来の構想ですが、桜美林の在学生在と一緒に奉仕活動に参加できるような組織を考えています。

（高橋委員長）今具体的に進めているのが、5月後半位に児童養護施設の子どもたちに半日体験してもらう事を考えています。

### <質問&アドバイスなど>

石川会員：皆さまのプレゼンありがとうございました。感想です。これだけの奉仕活動を皆さんが積極的に企画から考えてできた事、本当に素晴らしいと思ひました。今回、パキスタンの件やインドの件も詳細を知ることができました。おそらく今日は普段例会に出席されていない方々もいらっしやっているので、内容を良くお分かりになったのかなと思ひます。これから進捗を例会の中でお話いただけたら、クラブとしての奉仕活動がよく理解できるのではと思ひました。音楽で地域と社会を繋ぐプロジェクトは、素晴らしい取り組みだと思ひました。先日、ウクライナのオーケストラで指揮をしている日本人の方が、日本からウクライナと電話で繋がって、副指揮者が亡くなった事を知った、というニュースを見ました。戦禍の中だがオーケストラとしての練習をしている、というニュースでした。その時に、何か私達できる事はないのか、と思ひました。こういう取り組みも難しいかもしれませんが、何かきっかけができれば、まさにこのタイトルの奉仕活動に繋がるのではと思ひました。

（司会）このプロジェクトは、まだまだ案の状態ですので、アイデアをお持ちの方は中西さん、高橋さんにコメントをいただければと思ひます。

海渡さん：この音楽のプログラムは、一部職業奉仕の観点からも企画のお手伝いをしています。中西さんのご自身のお仕事を通して、音楽を通じて若者、国際交流、地域貢献などという思いがあつて、それを実現されるという意味で、広い意味での職業奉仕の一環になるかと思ひます。もう一つは、中央大学RACでは実際の活動の場がなかったり、奉仕活動はどういう風にしたらいいんだろうという悩みがあると聞きました。若者に社会的な奉仕の体験、自分とは違う環境にある人達と触れあう機会を提供する、という意味にもなります。同時に、桜美林大学の学生達にも体験、ノウハウを学

べる場、参加する人達それぞれに学びがある、というプログラムとして育てたいと思ひてご提案しています。

### <閉会の言葉>（明山エレクト）

クラブ協議会で皆さまの活動についてしっかりお話ができたので良かったです。ウクライナの情報も財団から寄付もありますので、そこからも情報を得られたらと思ひます。DGに関しては締め切りがとても早くなっています。4月5月中に、予算等々も含めて作成をしていく事が必要ですので、皆さまと協議できる機会を作るなど上手く進めていけたらと思ひています。本日はありがとうございました。

（要約文責 水野珠貴）



山下 江 会長	桑澤さんご入会おめでとうございます。
石川 和子 会員	今日もいいお天気です。春も近いですね。
桑澤 淳 会員	本日入会させて頂く桑澤です。宜しくお願い致します。
白水 真子 会員	中里先生のマネです。なにはなくてもニコニコ!
杉原由佳子 会員	長男が結婚することになりましたので、このままちゃんとゴールインすることを祈り、ニコニコします。
中里 妃沙子 会員	何はなくても、いつもニコニコします!
野呂 洋子 会員	本日より、桑澤さんをお仲間としてお迎えするのを嬉しく思っています。これからも宜しくお願い致します。
圓井 順子 会員	駅においてあるフリーマガジンの「ぼちえ」にのっけてもらいました。よかったら私のすまし顔みてください。😊
南 章乃 会員	みなさま、お久しぶりです。ニコニコします。

ここに合計 24,000円

後期週報原稿分担委員

宮下文夫・芝伸子・山田桂子・西村美寿穂  
（協力委員）野呂洋子・水野珠貴・杉原由佳子